

企業版ふるさと納税によるご寄附をいただきました



さんもく工業株式会社様

さんもく工業株式会社様から町に対し、企業版ふるさと納税によるご寄附をいただきました。
同社は「1に努力、2に誠意」を社是とし、長年培われた木材加工技術を活かした社会に貢献する製品づくり、人材づくり、会社づくりに取り組まれています。
この度いただきましたご寄附は「都市とのつながりを築き、奥出雲町へ新しいひとの流れをつくる事業」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業」に活用させていただきます。

東洋製鉄株式会社様

東洋製鉄株式会社様から町に対し、企業版ふるさと納税によるご寄附をいただきました。
同社は「社会における奉仕、ユーザー各位に対する貢献」を理念とし、出雲仁多工場を含む全国の工場でカウンターウエイトや機械部品の製造に力を入れておられます。
この度いただきましたご寄附は「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる事業」に活用させていただきます。



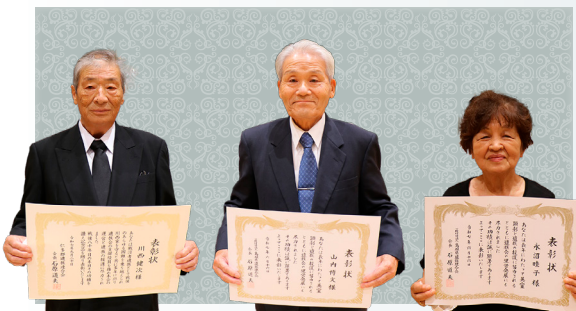
▲明治安田生命保険相互会社松江支社小山陽子支社長（右）

この度、本町と健康増進等について連携協定を結んでいる明治安田生命保険相互会社様から70万6千6百円のご寄附をいただきました。同社からのご寄附は、令和2年度から始まり6回目となります。
9月26日に、役場仁多庁舎で行われた目録贈呈式には、松江支社の小山陽子支社長らが出席されました。
この寄附は、同社が行う社会貢献活動「私の地元応援募金」によるもので、全国の従業員が出身地等ゆかりのある自治体に募金したものに会社拠出の寄附金を上乗せしたものです。
この度いただいたご寄附は、町民の健康づくりや暮らしの充実に係る事業に活用させていただきます。

明治安田生命保険相互会社様から町にご寄附をいただきました



て恩返し
の気持ち
ででき
てよかつ
たなどと
語られま
した。



▲川西建次さん ▲山内博文さん ▲永沼睦子さん

戦没者追悼式

～戦後80年 世界平和を願って～

令和7年度奥出雲町戦没者追悼式が9月20日、横田コミュニティセンターで行われました。
式典では、厳かな空気の中で戦没者の御霊に黙祷を捧げ、平和への誓いを新たにしました。
遺族を代表して、岩田年之さん（亀嵩）が「今もなお世界各地で戦闘が続く、世界平和への道のりは遠い」ということを痛感せざるを得ません。戦争を体験した人も少なくなり、遺族も高齢化の道をたどっていますが、戦争の悲惨さを風化させることなく、貴重な教訓として次世代へ確実につなげていくことが肝要であり責務であると考えます」と追悼の言葉を述べられ、戦争を知る世代の思いを次の世代へつなぎ、平和の大切さを後世に伝え続けたいという願いが込められました。
また、戦後80年を記念し、戦争の記録と教訓を振り返る映像番組が上映され、参加者は平和の尊さを改めて心に刻みしました。
戦没者追悼式後には、仁多郡遺族連合会の総会が行われ、県会長表彰を永沼睦子さん（三成）と山内博文さん（八川）、郡会長表彰を川西建次さん（三成）が受けられ、これまで多年にわたる遺族会の活動への尽力を讃える拍手が会場に響きました。受賞された皆様は、親族を戦争で亡くし、役員として恩返しの気持ちでできてよかったなどと語られました。



仁多小学校の校歌が完成しました

奥出雲町出身のオペラ歌手糸賀修平さんに作詞作曲を依頼していた仁多小学校の校歌が完成しました。
町のホームページで、糸賀さんに歌唱いただいた録音データを公開していますので、是非お聴きください。

仁多小学校校歌
作詞 作曲 糸賀修平
山のようにたくましく
元気な体で進んでいこう
学ぶ力と素直な心
自然と共に育てよう
我らの学び舎 仁多小学校
川のように清らかな
瞳をもつて支えていこう
友と手を取り笑顔を作る
明るく未来 迎えよう
我らの学び舎 仁多小学校
空のように広々と
大きな夢を抱いていこう
ここから始まる六つの絆
新たな明日 創るんだ
我らの学び舎 仁多小学校

【お問い合わせ】教育魅力課 学校再編係
電話:52-2672 有線:20-4000(内線4272)

中国電力主催

ランニング授業 開催!

10月2日に横田小学校で3年生を対象に中国電力株式会社主催の「ランニング授業」が開催されました。
この「ランニング授業」は、2004年アテネオリンピック日本代表の油谷繁さんを講師に、子どもたちに「走ることの楽しさ」や「体を動かすことの大切さ」を実感してもらうことを目的として行われています。
授業では走るための基本動作や体を使ったミニゲームなどが行われ、油谷さんのわかりやすい指導に、子どもたちは笑顔で元気よく取り組み、教室とは違う生き生きとした表情を見せていました。授業を受けた児童たちからは、「体の動かし方は難しかったけど楽しかった」「ロードレースも頑張る」との声もあり、走ることの楽しさを実感できたようです。



油谷さんは「体を動かす基本である走ることをきっかけに、いろいろなスポーツに取り組んでほしい」と語られました。

激励式が行われました

9月18日に仁多庁舎で第79回国民スポーツ大会の激励式が行われ、選手たちが意気込みを述べました。

自転車競技

9月21日から25日にかけて滋賀県と京都府で開催

鳥谷 未咲さん

大学生の方々とのレースのため厳しいレースになるかもしれませんが思い切って走ってきます。応援してください。結果で恩返しができるよう頑張ります。

ソフトテニス競技

10月3日から6日にかけて滋賀県で開催

松崎 ゆかりさん

今年度から実業団を発足し、島根国スポに向けても、今までの経験を活かし結果を残せるよう頑張ります。

横田高校

横田高校学園祭「稲稜祭」



8月28日から8月30日まで、横田高校の学園祭である稲稜祭が開催されました。

初日は体育館の工事の関係から横田コミュニティセンターでの開催となりました。各色に分かれての演劇はそれぞれの個性やユーモアが色濃く反映されたものになっていました。その後は有志の高校生による歌とダンスの発表や、昼休みにはキッチンカーの出店があり、生徒たちはカレーや唐揚げ、スイーツなどに夢中になっていました。午後からは横田高校史上初の中国大会金賞を受賞した吹奏楽部の演奏と、世界を股にかけ活躍するダンスグループMORTAL COMBATによるパフォーミングダンスの披露や講演があり、簡単なダンスを教えてもらい、全員で踊ることで会場が一体となっていました。
二日目は横田高校にてクラス企画が行われ、お化け屋敷や縁日、謎解きなど、各クラスが趣向を凝らした企画を行い、訪れた人々に楽しませていました。美術部・美術選択者 書道選択者 写真部による作品展示では、生徒たちの個性あふれる作品たちに、足を止める来場者も多くありました。また、演劇放送部による演劇の上演や、茶道部によるお茶席が行われ、どちらも大盛況でした。家庭クラブは、奥出雲町役場の合同展示を行い、生徒が考えた野菜料理のレシピなど、訪れた人の健康意識を高めるような展示に興味を惹かれる人も多かったようです。この日は、横田高校PTA主催でテイクアウト祭りが行われ、町内の飲食店から様々な料理が高校に集まり、生徒たちは美味しそうに食事を楽しんでいました。

三日目の体育祭はホッケー場での開催でした。競技では炎天下の中必死に走り、一喜一憂する生徒の姿が見られました。競技者だけでなく仲間を応援する生徒にも熱が入り、デモレーションも大迫力の作品が出来上がっていました。競技の後の応援合戦では息のあったパフォーミングスで見ると人々を圧倒していました。最後には生徒全員で風船を飛ばし、3日間にあたる稲稜祭の成功をみんなでお祝いしました。
例年とは異なることが多かった今回の学園祭でしたが、生徒会を中心に生徒全員で柔軟に対応することによって今までのない稲稜祭となりました。

